

都道府県名：山形県	市町村名：鶴岡市
1. 活動名 未就学児及び低学齢期における自然体験活動	
2. 取組の背景、目的 鶴岡市の豊富な森林資源を活用して未就学児とその保護者を対象とした森林教育プログラムを体験してもらい、森林に親しむ機会を創出することや、森林での活動を通して、子供たちの「感性」や「好奇心」、「想像力」、「協調性」を育んでもらいたい。また、保護者には子供と森で同じ時間を過ごし、子供たちが森での新しい発見をすることに立会い、日常生活と違う一面を見出してもらいたい。	
3. 実施主体 環境教育工房 LinX(リンクス)	
4. 2010 年度 取組の概要 (開催場所、活動スタッフ、内容と参加者数、参加料) 1) 初夏のツリーイング (朝日地域中台池) 6/13 33 名参加 500 円 2) 秋のツリーイング (〃) 10/31 20 人参加 1500 円 3) 森のようちえん説明会 (〃) 10/23 11 名参加 4) 森のようちえん① (〃) 10/19 6 名参加 森の散策ほか 5) 森のようちえん② (〃) 10/26 10 名参加 落ち葉であそぶ 6) 森のようちえん③ (〃) 11/3 9 人参加 いもりや落ち葉観察 7) 森のようちえん④ (〃) 11/10 5 人参加 大根収穫、木の枝で演奏会 8) 森のようちえん⑤ (〃) 11/13 5 人参加 森の散策 活動スタッフは 環境教育工房 LinX スタッフ、一部事業はあさひむら観光協会、東北森林管理局 朝日庄内森林環境保全ふれあいセンターに協力いただいた。	
5. 支援事業 (国、都道府県、各種団体等から支援、補助を受けている事業名、及び補助率を記入して下さい。) 県民みんなで支える森・みどり環境公募事業 補助率 10/10	
6. 取組等についての成果や課題 【成果】 子供たちは五感を活用した体験を通じて自然を感じる心を醸成し、成長し、自然の見方や接し方に大きな効果があると考えられる。 【課題】 今後は、大人向けのプログラムも併せて実施し、従来のプログラムと大人向けのプログラムが循環していくような仕組みづくりも実施していく予定である。	



【初夏のブナの森 Tree+ing】



【紅葉のブナの森 Tree+ing】



【プチ 森のようちえん♪】

- ・朝のあいさつ
朝のあいさつでは、みんなで「ブナの森」の歌を唄います。



【育まれる感性】

- ・創造する力
- ・チャレンジする心
- ・感情を主張する自己主張
- ・協働の心

など



【電車ごっこ①】

- ・ぐずった子どもがいたら、ザックの中にあるロープを使って、電車ごっこ！



【電車ごっこ②】

- ・自己主張して対立しても、ちゅんとやさしい気持ちを持っています。



【室内活動①】

- ・あまりにも天気が悪い時は室内活動をします。
ブナの枝を使って、何をするか考えます。この日は電車ごっこ。枝で線路とハンドルを作ります。リズム運動にもなります。



【室内活動②】

- ・森から葉っぱを拾ってきて、葉っぱのトランプ遊びをした後、葉っぱを掴む葉っぱシャワーの遊びをしました。これも形や色の比較学習や運動機能を高める遊びが出来ます。

室内活動も森との繋がりを大切にしています。